

○ 2013 年 2 月 21 日 公の精神のもとに集うコミュニティー「一志会」の第 14 回例会を開催しました。

一志会は、「公の精神」のもとに社会との関わりをもち積極的に責任を果たそうとの想いを共有する大企業経営幹部の会員制”コミュニティー”ですが、第 14 回例会を、2 月 21 日に開催しました。



今回は、ゲストとして一柳の官僚当時からの友人である元厚生労働事務次官の澤田陽太郎氏をお迎えしました。澤田氏は、労働省に入省し、労働行政の中樞を歩まれた方で、現在は、自ら一般社団法人人的資源総合研究所(代表理事)を立ち上げて、グローバル時代の労働関係のあり方を研究するとともに、啓蒙活動に取り組んでおられます。

「労働法の潮流と規制改革」と題した卓話では、戦後の労働法が 1985 年を境に「判例、解釈の時代」から「立法の時代」に大きく変わった背景、以後の少子高齢化、デフレ経済の長期化、非正規従業員の大幅増加など新しい事態への対応、規制緩和、そして再規制の流れを説明されました。その上で、安倍政権のもとでは主要政策課題とされている「規制緩和」の中に雇用分野に関するものも重要項目となっているので、今後の見直しの方向について解説されるとともに、望ましいのは「経済発展を阻害せず、むしろ発展に資するような労働法」で「労働者が多様化(様々な利害対立)している中で複雑にならない労働法」でないか、と話されました。会員からは、国際競争力を削がない雇用ルールなどについていくつも質問が出され、関心の高さを示していました。

会員スピーチでは、イーサポートリンクの堀内代表取締役社長から、生鮮流通を生産者、中間流通業者、小売業者のいずれの立場からも効率化させるためのシステム化に取り組んだパイオニアとしての歩みの説明があり、今後のさらなる事業拡大をどのように展開していくか、が課題であると話されました。これを受けて、会員からは、国内市場での拡大策や海外進出の場合の留意点や参考事例などの意見が出され、問題意識を共有した質疑となりました。

また、初参加の阪和興業の松岡取締役執行役員から自己紹介が行われました。



会の半ばには、一柳の経産省の後輩にあたる元文部科学副大臣の鈴木寛参議院議員が参加され、政治家になろうとした強い「想い」や、フィールドワークとしている IT の活用や教育問題での取り組みについて熱っぽく話されました。

この後は、議員やゲストとの交流の輪が広がり、いつものように和気あいあいのうちに例会を終えました。

